

## 研究・調査報告書

報告書番号	担当
2 2 7	独立行政法人酒類総合研究所
題名 (原題/訳)	
Effects of light to moderate alcohol consumption on thyroid volume and thyroid function. 軽度から中程度のアルコール摂取の甲状腺容積と機能への影響	
執筆者	
Valeix P, Faure P, Bertrais S, Vergnaud AC, Dauchet L, Hercberg S.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Clin Endocrinol (Oxf). 2008 Jun;68(6):988-95.	
キーワード	
アルコール、甲状腺	
要 旨	
<p>アルコール中毒で甲状腺機能異常が報告されており、用量依存的に大きさが小さくなり、繊維化が進むことが示されている。軽度から中程度のアルコール摂取が甲状腺にどのような影響を及ぼすかについてほとんど知られていないため、アルコール摂取の甲状腺容積と機能への影響を調べた。SU.VI.MAX 研究に参加した甲状腺機能異常のない 1493 名 (45-60 歳の男性 599 名、35-60 歳の女性 894 名) について調査を行った。24 時間の食事記録に基づいて、1 日当たりのアルコール摂取量 (g) と食事摂取を調べた。甲状腺の容積と構造は超音波検査で調べ、TSH と freeT4 (FT4) を測定した。エタノールを 1 日当たり、男性は <math>30.6 \pm 23.3</math>g、女性は <math>14.2 \pm 13.4</math>g 摂取していた。男性 (<math>p=0.0001</math>) と女性 (<math>p=0.06</math>) の両方でアルコール摂取量が増加すると炭水化物摂取が減少することがわかった。ヨウ素摂取量に関わらず、男性でも女性でも、アルコール摂取が多いほど甲状腺の容積が増えていた。甲状腺拡張の多変量オッズ比を調べたところ、摂取量が少ない人に比べて 1 日当たり 45g 以上摂取する男性で 2.22 (95%CI 1.10-4.47)、1 日当たり 20g 以上摂取する女性で 2.11 (95%CI 1.15-3.90)、禁酒者に比べて 1 日当たり 45g 以上摂取する男性で 11.75 (95%CI 2.15-4.12)、1 日当たり 20g 以上摂取する女性で 2.03 (95%CI 1.04-3.96) となった。また、TSH に関わらず、男性でアルコール摂取によって FT4 が低くなっていた。以上より、男性でも女性でも、アルコール摂取量と甲状腺拡張に用量依存的な関係が見られることがわかった。</p>	